

S&P Capital IQ と RDB が「中小企業クレジット・モデル」を全面バージョンアップ

(2015年5月21日、東京) 複数の金融商品のリサーチ、データ、分析ツールの提供を行うS&P Capital IQは、日本最大級の財務データベースコンソーシアムである日本リスク・データ・バンク株式会社(RDB)と共同開発した日本の中堅・中小企業を対象とした信用リスク・モデル「中小企業クレジット・モデル」の改訂を発表しました。

「中小企業クレジット・モデル」は、RDB 会員から提供された中小企業向け貸出に関連するデータに基づいて構築された日本の中小企業の信用リスク評価を行うクレジット・スコアリング・モデルで、2 期分の財務諸表主要科目の数値から、推定デフォルト率(PD)、企業偏差値、スコアなどの指標を算出する PC 上のアプリケーションソフトウェアです。

2003 年 3 月の販売開始以来、S&P Capital IQ と RDB では、モデルのパフォーマンス(精度)の評価検証(バックテスト)を毎年継続的に実施し、検証の結果を受け、モデルの改訂を行っています。今回提供を開始するモデルは、第 3 世代のモデルとなります。10 年を超すデフォルトデータの蓄積を背景に、より直近までにわたる長期のデータ、特に 2008-2010 年の金融危機期を含むデータを利用して、全面的にモデルを更改しました。

「中小企業クレジット・モデルは、グローバルに信用分析ツール、情報を提供する S&P Capital IQ の専門知識と日本リスク・データ・バンク社が有するデータベースと統計モデリングの技術力の融合によるもの」と S&P Capital IQ クレジット・ソリューション部門のマネジング・ディレクターのクレメンス・ティムは述べています。「また、両社の強みを最大化することで中小企業の信用分析に大きく寄与するものと考え」と加えています。

中小企業クレジット・モデルは、日本の事業会社を対象としていますが、今回の改訂で、現行モデルの対象業種に加え貸金業、リース業などへの対応も実現しています。なお、既存ユーザーに対するプログラムの配布は、2015 年 6 月以降を予定しています。

S&P Capital IQ について

S&P Capital IQ は、マグローヒル・フィナンシャルのビジネス・ラインの一つであり、世界中の機関投資家、投資顧問会社および資産運用会社、金融機関、ウェルスマネジメント、事業会社、大学等を対象に様々な資産クラスのデータ、リアル・タイムデータ、調査レポート、および分析の提供者として業界を主導しています。パフォーマンスのモニター、アルファの発掘、新たな取引および投資アイデアの特定ならびにリスク分析およびリスク軽減の戦略に役立つ包括的なサービスを提供します。デスクトップ・ソリューション (S&P Capital IQ、Global Credit Portal、MarketScope Advisor)、エンタープライズ・ソリューション (S&P Capital IQ Valuations、Compustat)、レバレッジド・ローン市場コメンタリー&データ (LCD) やグローバル・マーケット・インテリジェンス、企業やファンド・リサーチなどの調査レポートを通じて、S&P Capital IQ は専門性の高い金融情報が必要とするお客様のニーズに応えるためのソリューションを提供します。詳細は www.spcapitaliq.com まで。

日本リスク・データ・バンク株式会社 (RDB) について

四大金融グループおよび地方銀行を中心とした全国の 65 以上の銀行・金融機関が参加する、貸出先企業の信用状態や財務情報を共有するデータベースコンソーシアム。2000 年 4 月の設立以来、約 82 万先 (2015 年 3 月末現在) の国内企業に関する財務情報を集積し、参加金融機関に情報還元している。統計的、定量的な手法に基づく信用リスク管理の高度化を目的とした匿名のデータベースであり、各種信用調査会社と異なり具体的な企業名・所在地等、企業を特定できる情報は有していない。

日本における連絡先

S&P Capital IQ 営業部門クライアントサービス

Tel: 03.4550-8711 clientservices_japan@spcapitaliq.com